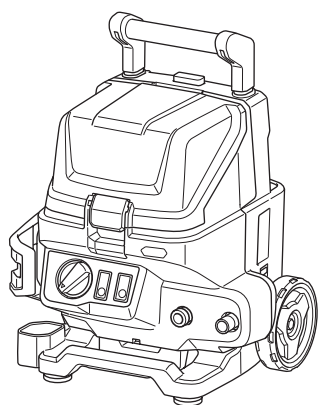


Makita

取扱説明書

充電式高圧洗浄機

モデル MHW001G



このたびは充電式高圧洗浄機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	20
標準付属品の確認	22
別販売品のご紹介	25
その他	29

ご使用前の準備

バッテリーの充電	30
バッテリー/充電器の取り扱い	32
使用前に知っておいていただきたいこと	33

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方法	36
本製品の操作	39
・ 高圧ホースの取り付け/取りはずし方法	39
・ ホースアッセンブリの取り付け/取りはずし方法	40
・ スイッチの操作	44
・ モード切替	47
・ ノズルの選択	48
・ ノズルの取り付け/取りはずし方法	50
・ 洗浄作業	53
・ 使い終わったら	55
・ ため水を利用した使い方	58
使用後の取り扱い	62
・ 本製品のお手入れ	62
・ 本製品の保管	62

保守/点検

保守	63
故障かな?と思ったら	65

充電式高圧洗浄機 保証書……………裏表紙

はじめに

主要機能

主要機能 \ モデル	MHW001G	
電動機	DC ブラシレスモータ	
バッテリー (別販売品)	リチウムイオンバッテリー	
	対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。	
電圧	直流 36 V (40 V max) ※	
常用吐出圧力	モード 3 (高速モード) 運転時	8.5 MPa
	モード 2 (中速モード) 運転時	5.5 MPa
	モード 1 (低速モード) 運転時	3.0 MPa
最大許容圧力	11.5 MPa	
常用吐出水量	モード 3 (高速モード) 運転時	5.5 L/min
	モード 2 (中速モード) 運転時	4.2 L/min
	モード 1 (低速モード) 運転時	3.0 L/min
最大吐出水量	7.0 L/min	
最大自吸高さ	1.0 m	
最高吸水温度	40 °C	
高圧ホース長さ	5 m	
防じん・防水保護等級	IPX5	

※：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品 長さ×幅×高さ
BL4050F 1 個	9.8 kg	344 mm × 383 mm × 520 mm
BL4080F 2 個	12.3 kg	

本製品（充電器、バッテリーは除く）は、雨の中での使用に耐えうる製品仕様となっていますが、故障しないことを保証するものではありません。以下のことに注意してください。

安全上のご注意

- ・ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

使用環境

- 1** ご使用されるときは、周辺を整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 本製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 安全に責任を負う監督者がいない状態で、子供など補助を必要とする人を本製品に近づけたり、充電器および電源コードに触れさせないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 4** 落雷の恐れがある場合は製品を使用しないでください。
 - ・ 感電ややけどの恐れがあります。
- 5** 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- 6** アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させた状態で本製品に触れないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。

⚠ 警告

- 3** 充電器、バッテリーは、雨中や湿気の多い所で、充電したり、保管しないでください。
 - ・ 充電器、バッテリー内部に水が入り、感電や発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 4** 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- 5** 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- 6** 本製品は、雨の中に放置しないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 7** 雨の中で、バッテリーを製品からはずさないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 8** 濡れた手でバッテリーの端子や充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
- 9** USB 端子付きの製品や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。
- 10** 不意な始動は避けてください。
 - ・ 本製品を持ち運ぶときは、電源が切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源ボタンやスイッチに指をそえて持ち運ばないでください。

 警告**作業者に関する安全事項****1****油断しないで十分注意して作業を行ってください。**

- ・ 本製品を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりする方や妊娠している方は、本製品を使用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは本製品を使用しないでください。
- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2**安全保護具を使用してください。**

- ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3**不意な始動は避けてください。**

- ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・ スwitchに指をかけて運ばないでください。

4**本製品の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。**

- ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5**無理な姿勢で作業をしないでください。**

- ・ 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

6**きちんとした服装で作業してください。**

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

- 7** 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- ・ 本製品に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

本製品の使用および手入れ

- 1** 電源ボタンやスイッチに異常がないか点検してください。
- ・ 電源ボタンやスイッチで始動および停止操作のできない本製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- 2** 本製品の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源ボタンやスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
- ・ 調整、付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 本製品から離れるときや、受け渡し
 - ・ その他、危険が予想されるとき
- 3** 使用しない本製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- ・ 本製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 4** 子供に本製品、充電器およびバッテリーで遊ばせないでください。
- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 5** 部品の破損や取り付け状態など、使用に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。

⚠ 警告

- 6** 取扱説明書で指定した付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引き出すよう、最適に設計されています。
- 7** 本製品、付属品やアタッチメントなどは、目的に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
- 8** 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- 9** 使用後は付着したゴミなどを取り除き、乾燥させてから保管してください。
 - ・ 季節や地域によっては凍結による故障の恐れがあります。
- 10** 通気孔に雑草や葉、土などの汚れが付着した場合、取り除いてください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 11** 清掃の際は、バッテリー部、モータ部、電気接続部へ水を侵入させないようにしてください。
- 12** 高圧水での洗浄はしないでください。
 - ・ 破損、故障の原因になります。

⚠ 警告**バッテリーに関する安全事項**

- 1** バッテリーを差し込む前に、電源ボタンやスイッチが切れていることを確認してください。
 - ・電源ボタンやスイッチがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
- 2** バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 3** マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 4** バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
- 5** 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
- 6** バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 7** バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
- 8** バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 9** バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 ℃以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 10** バッテリーの内部に塩水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に塩水のような導電体が侵入すると、感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 11** 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 12** 落したり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
- 13** 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 14** バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
- 15** バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

⚠ 警告

整備

1 本製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。

2 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。電源ボタンやスイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ 電源ボタンやスイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- 3 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 4 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。
- 5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- 6 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 7 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 8 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

9 正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・充電器の電源コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10 充電器の電源プラグに濡れた手で触れないでください。

- ・感電の恐れがあります。

11 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式高圧洗浄機安全上のご注意

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式高圧洗浄機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって高圧洗浄機とその操作を理解した方以外、および子供には使用させないでください。
 - ・ 理解せずにご使用することは危険です。
- 2** 足元がすべりやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。
- 3** 気温が低い環境や身体が濡れたままなどの劣悪な環境下での長時間作業は避けてください。
 - ・ 事故やけがの原因となります。
- 4** 着用したままの衣類や靴などを洗浄したり、対象物を手で保持しないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 5** すべりにくい靴をはき、無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 6** 作業中、高圧・水道ホースなどに足が引っ掛からないようにしてください。
- 7** 正しい高圧ホース、付属品、アタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている高圧ホース、付属品、アタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 8** 高圧洗浄機の修理は、専門店にお申し付けください。
 - ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

- 9** 洗浄中は、人や動物を近づけないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 10** ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 11** ノズルの噴射口を通電された電気装置（本製品を含む）に向けないでください。
 - ・ 高圧水が、故障や感電の原因になります。
- 12** 使用する際は必ず本製品を置き、安定した状態で使用してください。
 - ・ 故障や思わぬ事故の原因になります。
- 13** 噴射される高圧水に触れないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 14** 保護メガネなどの保護具を着用し、素肌を露出しないでください。
 - ・ 高圧水が、けがの原因になります。
- 15** 可燃性液体、その他不適当な液体を使用しないでください。
 - ・ 事故または故障の原因になります。
- 16** 車のタイヤまわりは、ノズル先端から最低 30 cm 以上離して洗浄してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤやブレーキを損傷させ、重大事故の原因となる場合があります。
- 17** 充電器の電源プラグ、電源コンセントなどに水がかからないようにしてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
- 18** 高圧ホースの定期点検を行ってください。また、高圧ホースに損傷や亀裂、変形がないことをよく点検してください。損傷や亀裂、変形のあるホースは使わずに新しいホースをお使いください。
 - ・ 損傷や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 19** 濡れた手でバッテリーや充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

- 20** 水などの液体でバッテリーの端子を濡らしたり、バッテリーを水の中に入れないでください。また、雨の中にバッテリーを放置したり、バッテリーを湿った場所で充電、使用、保管をしないでください。
- ・バッテリーの端子が濡れたり、内部に水が入ると短絡（ショート）して過熱や発火、爆発の恐れがあります。
- 21** 作業する際は、トリガガン部を両手で確実に保持してください。
- ・トリガガンを片手で操作しますと反動で先端部がはね上がり、けがの原因になります。
- 22** トリガガンを握った状態に固定しないでください。
- 23** 対象物から 30 cm 程度離して洗浄してください。
- ・高圧水が跳ね返り、けがの原因になります。
- 24** 風上に向かって洗浄しないでください。
- ・高圧水が吹き返され、けがの原因になります。
- 25** 風上から使用し、万が一誤飲したり、目に入った場合は、医師に相談してください。
- 26** 高圧ホースを抜く前に、本製品内圧をすべて抜いてください。
- ・けがの原因になります。
- 27** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 28** 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂がないことをよく点検してください。
- ・破損や亀裂があると、発煙や発火、また感電やけがの原因になります。
- 29** 本製品の上に座ったり、踏み台にしないでください。
- ・事故または故障の原因になります。

⚠ 注意

- 1 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- 2 本製品を倒した状態で使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 3 高圧ホースは、まっすぐに伸ばした状態で使用してください。
 - ・ 水漏れや故障の原因になります。
- 4 同じ部分に連続して噴射しないでください。
 - ・ 対象物が破損する恐れがあります。
- 5 洗浄物のラベル類周辺へは、直接噴射をしないでください。
 - ・ 高圧水により、ラベル類がはがれる原因になります。
- 6 外壁などは、離れた場所に噴射して圧力を確認してから洗浄してください。
 - ・ 強すぎる圧力は、外壁材破損の原因になります。
- 7 高圧ホースを腐食させるような洗剤は使用しないでください。
- 8 40℃以上の水は使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 9 川や池の水、砂や泥が混ざった水などは使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 10 使用後は、本製品内部の水を抜き、完全に乾かしてから保管してください。
 - ・ 季節や地域によっては、凍結による故障の恐れがあります。
- 11 使用中に本製品下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所にはご注意ください。
- 12 本製品は、1時間を越えて連続で使用しないでください。1時間使用後は、本製品を十分に休ませてください。

⚠ 注意

- 13 充電器からはずしたバッテリーは、カバーを取り付けて乾燥した場所に保管してください。
- 14 雪に埋もれたり、凍結した状態で使用しないでください。
 - ・ 故障の恐れがあります。
- 15 降雪時や積雪中での使用は避けてください。
 - ・ 製品が凍結して故障する恐れがあります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 5 有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

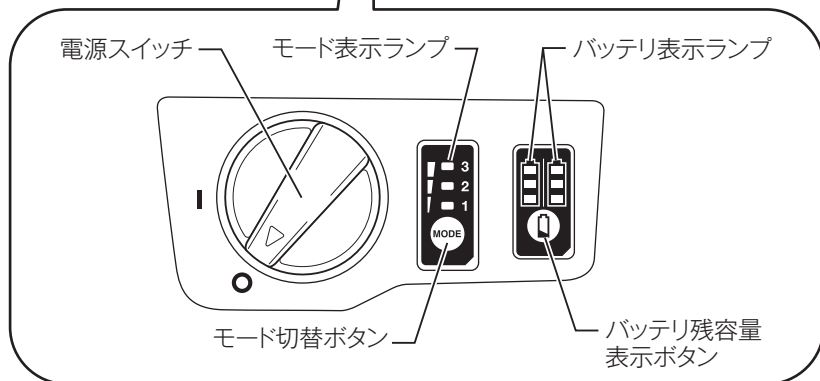
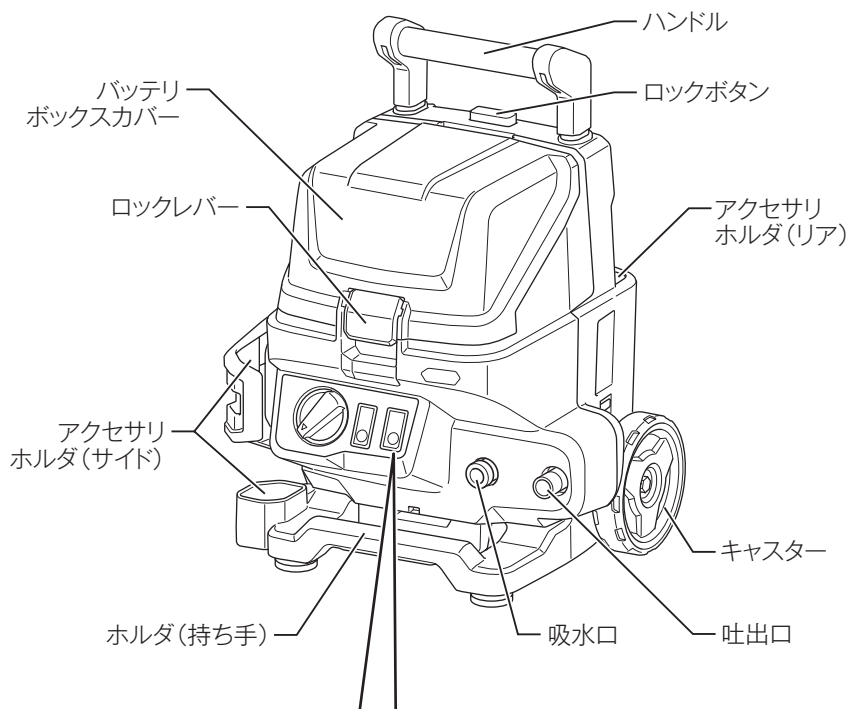
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注

- ・ IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- ・ 工具本体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称

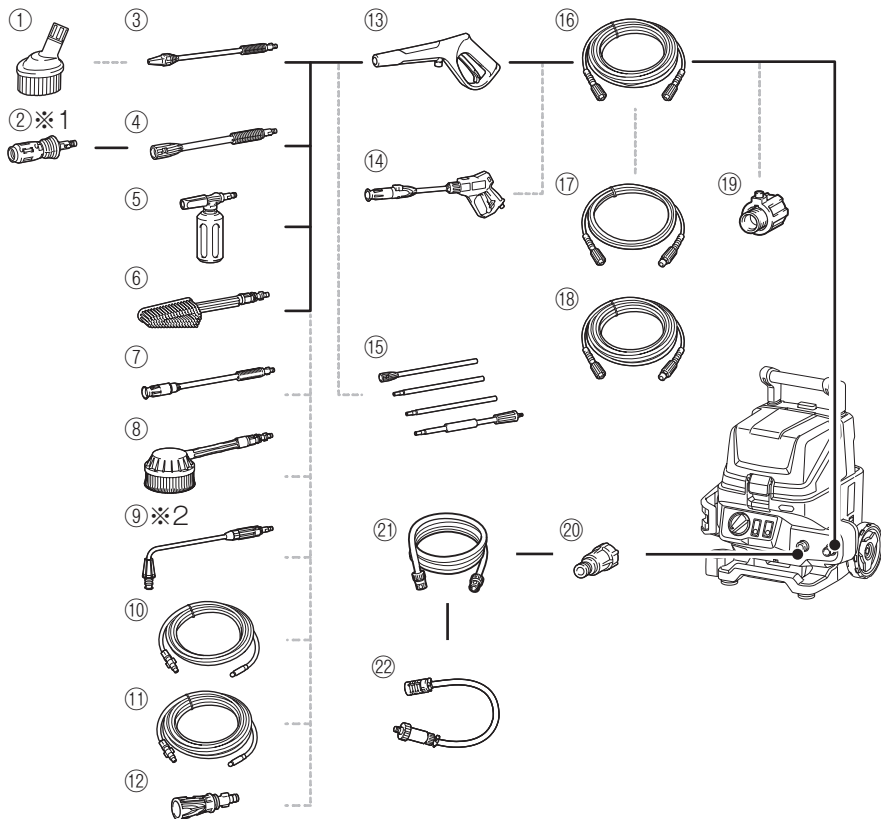


ノズルとホースの組み合わせ

ノズルとホースの組み合わせ関係は以下の通りです。

———:実線でつながっているものは付属品です。

-----:点線でつながっているものは別販売品です。



※1:②は⑬に直接取り付け可

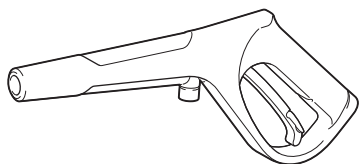
※2:⑨と⑮の併用不可

- | | | |
|---------------|-------------------|--------------|
| ①サイクロンガード | ⑨アンダーボディスプレーランス | ⑬高圧ホース5 m |
| ②バリオスプレーノズル | ⑩パイプクリーニングホース10 m | ⑭高圧延長ホース5 m |
| ③サイクロンジェットノズル | ⑪パイプクリーニングホース15 m | ⑮高圧延長ホース10 m |
| ④エクステンション | ⑫アダプタ | ⑯ねじれ防止ジョイント |
| ⑤フォームノズル | ⑬トリガガン | ⑰吸水コネクタ |
| ⑥洗浄ブラシ(縦型) | ⑭バリアブルショートガン | ⑱ホースアッセンブリ |
| ⑦バリアブルノズル | ⑮延長パイプ | ⑲ストレーナアッセンブリ |
| ⑧回転ブラシ | | |

標準付属品の確認

標準付属品	モデル	MHW001GZ
バッテリー		×
充電器		×
トリガガン		○
サイクロンジェットノズル		○
バリ奥斯プレーノズル		○
エクステンション		○
フォームノズル		○
洗淨ブラシ（縦型）		○
吸水コネクタ		○
ホースクランプ		○
クリーナピン		○
高圧ホース 5 m		○
ホースアッセンブリ		○
ストレーナアッセンブリ		○

- ・ トリガガン



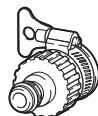
- ・ 吸水コネクタ



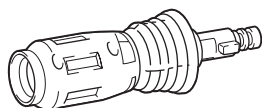
- ・ サイクロンジェットノズル



- ・ ホースクランプ



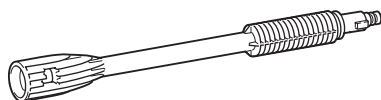
- ・ バリオスプレーノズル



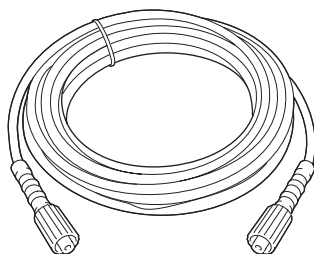
- ・ クリーナピン



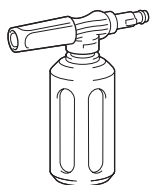
- ・ エクステンション



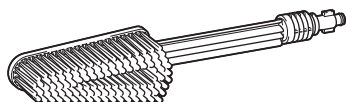
- ・ 高圧ホース 5 m



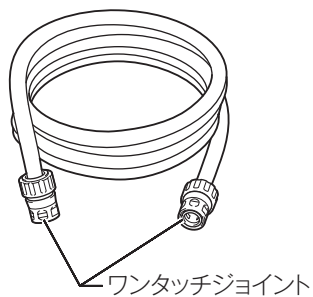
- ・ フォームノズル



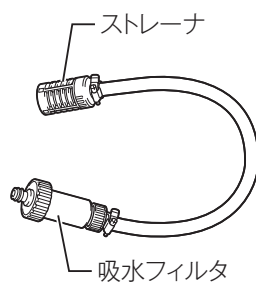
- ・ 洗浄ブラシ（縦型）



- ・ ホースアッセンブリ (水道／自吸兼用)
水道と製品を接続したり、ストレーナアッセンブリとの接続をするためのホースです。



- ・ ストレーナアッセンブリ
ため水を利用する場合に利用するセットです。
(ホースアッセンブリを利用して製品と接続してください)。

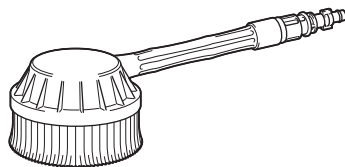


別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

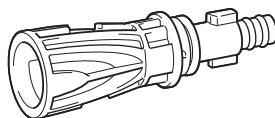
- 回転ブラシ
部品番号：A-61547

水圧により中央のブラシが回転します。浴室や窓など、広い面積のブラシ洗浄ができます。



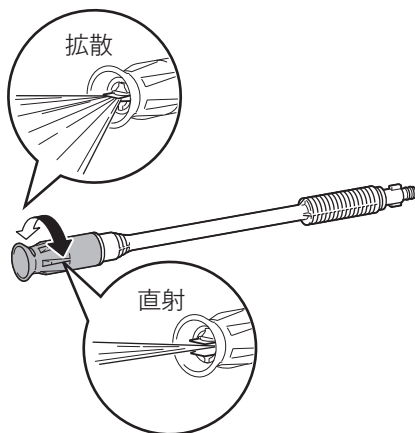
- アダプタ
部品番号：A-61640

MHW0700/MHW0800 用の アクセサリを本製品のトリガガンに接続可能にします。

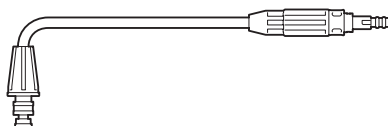


- バリアブルノズル
部品番号：A-61519

ノズルの先端を下図矢印方向に回すと、直射⇔拡散の調整が可能で、いろいろな洗浄ができます。

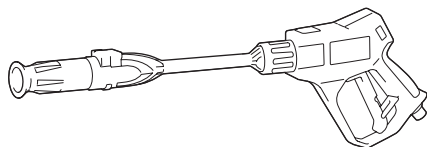


- アンダーボディスプレーランス
部品番号：A-61581
車のアンダーボディや雨どいなど、届きにくい場所の洗浄に適しています。延長パイプと組み合わせて使用することはできません。



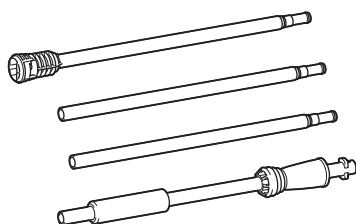
- ・ バリアブルショートガン
部品番号：A-70873

直射⇄拡散の調整が可能で、いろいろな洗浄ができます。



- ・ 延長パイプ
部品番号：A-61612

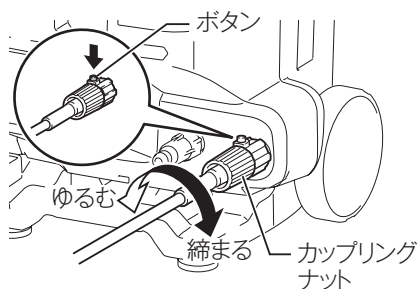
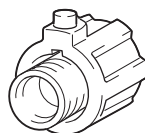
4本のパイプを組み合わせることで、3通りの長さが選べます。



- ・ ねじれ防止ジョイント
部品番号：A-61606

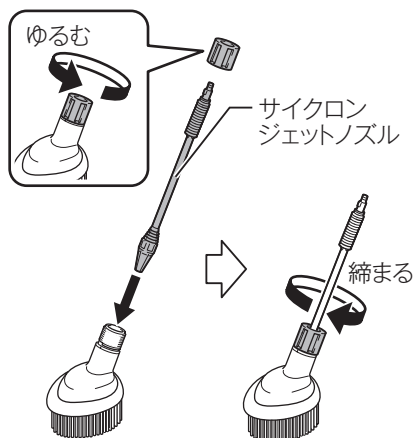
本製品の吐出口に取り付けて、高圧ホースのねじれや折れを防止します。

高圧ホースをねじれ防止ジョイントに取り付ける、取りはずす際は、ボタンを押しながらカップリングナットを回します。

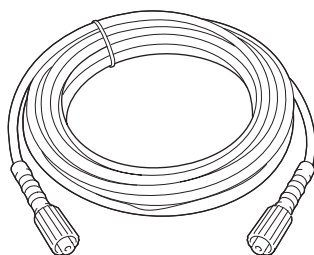


- サイクロンガード
部品番号：A-61597

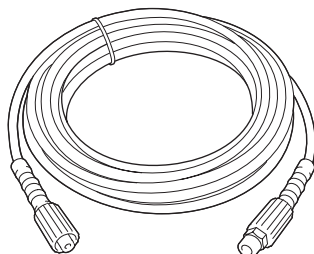
サイクロンジェットノズルを使用する際に水はねを防止します。



- 高圧ホース 10 m
部品番号：123651-3

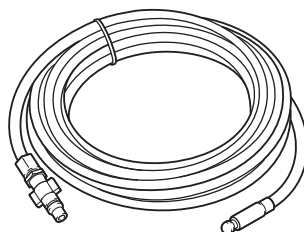


- 高圧延長ホース 5 m
部品番号：A-61628
- 高圧延長ホース 10 m
部品番号：A-61634



- ・ パイプクリーニングホース 10 m
部品番号：A-61569
- ・ パイプクリーニングホース 15 m
部品番号：A-61575

ホース先端から高圧水が逆噴射し、パイプの中を進みながら洗浄します。



注	・ ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。 ・ パイプクリーニングホース先端はパイプの内側に十分に挿し込んで使用してください（550 mm 以上）。挿し込みが十分でないと、高圧水噴射時にホース先端がパイプからはずれ、思わぬ事故の原因になります。
---	---

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

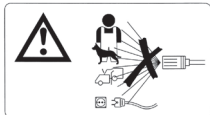
◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

その他

シンボルマークについて

- ・ 本製品上にシンボルマークを記載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。



- ・ ノズルは、人、動物、通電された電気装置または機器本体に向けてはいけません。

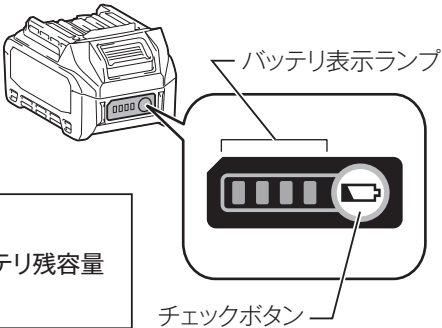
ご使用前の準備

バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリーの残容量表示機能

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



The diagram shows a close-up of the device's battery compartment. A label 'バッテリー表示ランプ' (Battery Level Indicator) points to a row of four small rectangular lamps. A label 'チェックボタン' (Check Button) points to a circular button with a battery icon, located to the right of the lamps.

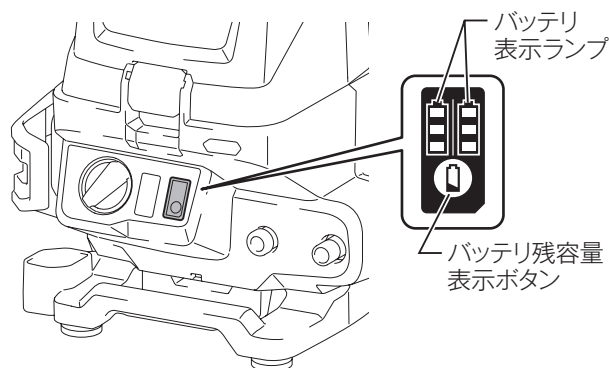
バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
 :点灯	 :点滅	 :消灯		
				75 % - 100 %
				50 % - 75 %
				25 % - 50 %
				0 % - 25 %
				充電してください。
				バッテリーの異常 です。
				

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

本製品のバッテリー残容量表示機能

- ・「バッテリー残容量表示ボタン」を押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を表示します。
- ・バッテリーの消費量は気候条件などによって異なります。
- ・電源が入ってなくても、バッテリー残容量は表示されます。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	
	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	充電してください

バッテリーの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

周囲の整頓

- ・ 洗浄作業をすると、高い水圧の水が当たったり、汚れた水が飛び散ったりします。洗浄作業をする前に、壊れやすいものや、水に濡れると困るものは洗浄作業の場所から離れた場所に移動するなど、周囲の整理、整頓をしてください。

本製品の設置

- ・ 水平な場所で、本製品が転倒しにくい場所を選びます。

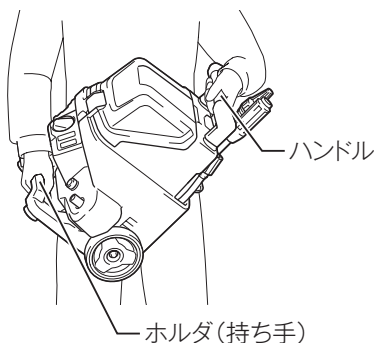
市販の水道ホースを使用する場合

- ・ 水道の蛇口から、本製品の設置場所までの距離に応じた長さの市販の水道ホース（耐圧タイプ（メッシュ入り）、内径 14 mm ～ 15 mm、外径 20 mm まで（肉厚 2.3 mm 以上、3.0 mm 未満））をご用意ください。市販のホースバンドを使用するなど蛇口の形状に合った接続方法で、しっかりと蛇口と水道ホースを接続します。

運搬方法

■ 両手で持ち運ぶ場合

- ・ 両手で持ち運ぶ場合は、ホルダ（持ち手）とハンドル（※）を持ってください。
- ※：収納状態にする

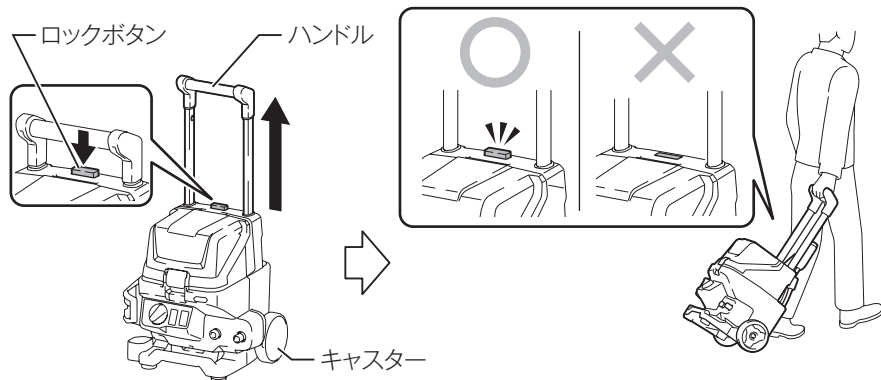


注

- ・ 持ち上げる前にハンドルが確実に収納されていることを確認してください。
- ・ ハンドルが引き上がるとけがをする恐れがあります。

■ キャスターを使って運ぶ場合

- ・ キャスターを使って運ぶ場合は、ロックボタンを押してロックを解除し、ハンドルを引き上げて使用してください。
- ・ ハンドルを引き上げた後、ロックボタンが上がっているのを確認してください。

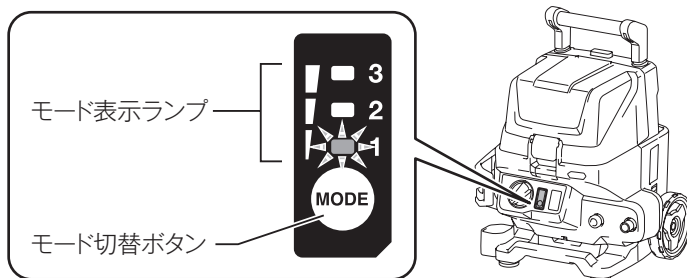


注

- ・ 引き延ばしたハンドルに寄りかかるなど無理な力を加えないください。
- ・ ハンドルがはずれたりした場合、転倒するなどけがをする恐れがあります。

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、モード表示ランプの 1 灯が下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。



モード表示ランプの 1 灯	保護機能
赤点灯	本製品が高温になるとモータが自動停止します。 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、本製品を冷ましてください。
赤点滅	バッテリーの容量が少なくなるか、バッテリーが高温になるとモータが自動停止します。 - バッテリーの容量が少ない場合は、本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。 - バッテリーの容量が十分な場合は、使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
緑点滅	本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 - いったん電源を切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。 電源スイッチが「I」の位置にある状態で、バッテリーを挿入すると、モード表示ランプの 1 灯が緑点滅します。 - 電源スイッチを「O」の位置にしてから、再度「I」の位置にして電源を入れ直すと点滅が解除されます。

- モード表示ランプの 1 灯が点滅・点灯するタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。
- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（65 ページ参照）に従って点検してください。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

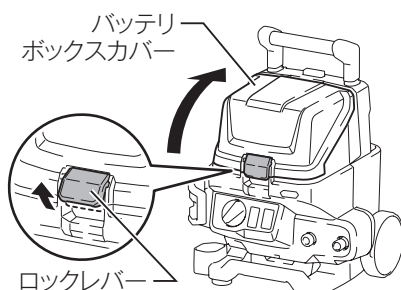
- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

⚠ 注意

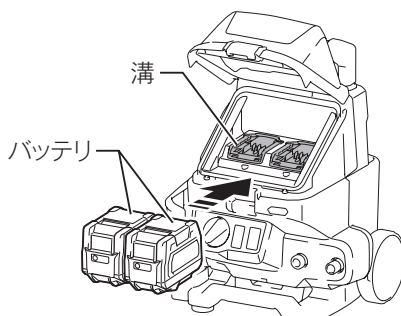
バッテリーを交換するときは、バッテリーボックスカバーを保持して行ってください。

取り付け方

1. ロックレバーを引き上げてバッテリーボックスカバーを開けます。

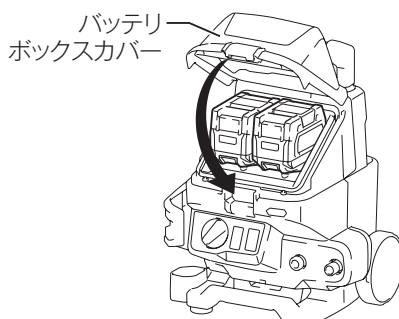


2. バッテリーを溝に合わせ、“カチッ”と音がするまで差し込みます。



3. バッテリーボックスカバーを閉じます。

- ・ ロックレバーのロックがかかるまでバッテリーボックスカバーを押してください。

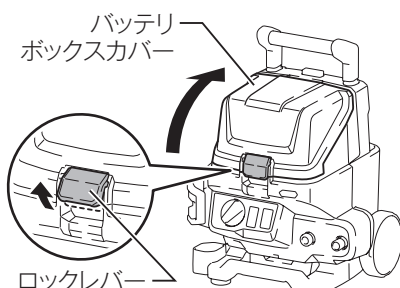


注

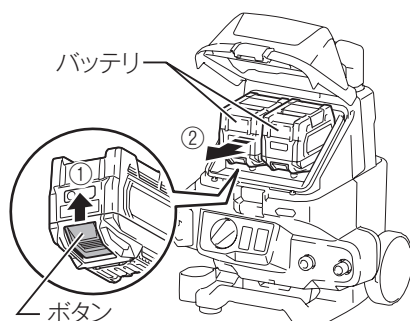
- ・ 本製品はバッテリーが 1 本でも使用可能です。右側と左側、どちらに差し込んでも使用できます。
- ・ バッテリーが 2 本差し込まれている場合は、左側のバッテリーから使用し、使い切った後は、自動的に右側のバッテリーに切り替わります。
- ・ バッテリーボックスカバーを必ず閉じた状態で使用してください。
- ・ ほこりや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。

取りはずし方

1. ロックレバーを引き上げてバッテリーボックスカバーを開けます。

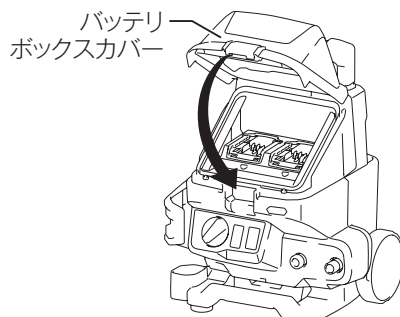


2. バッテリーのボタンを①のように矢印方向に押しながら、②のようにバッテリーを引き出します。



3. バッテリーボックスカバーを閉じます。

- ・ ロックレバーのロックがかかるまでバッテリーボックスカバーを押してください。



本製品の操作

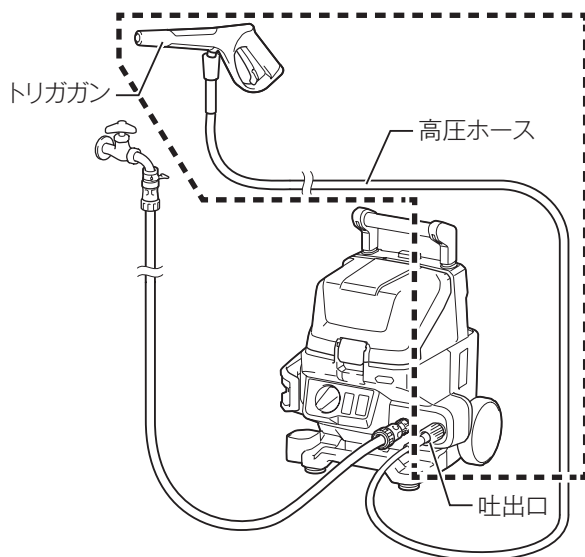
高圧ホースの取り付け／取りはずし方法

■ 取り付け方

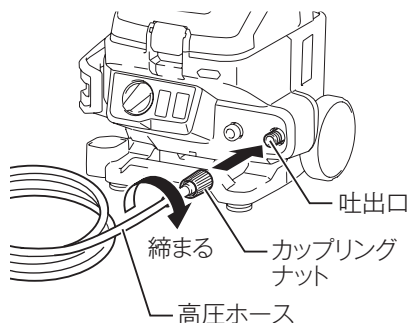
⚠ 警告

高圧ホースは、まっすぐに確実に取り付け、はずれないことを確認してください。

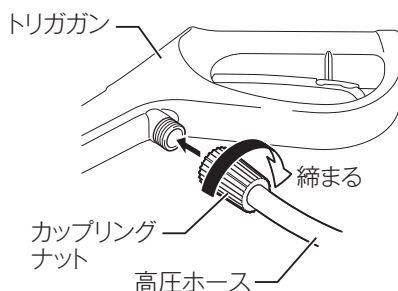
・ 高圧ホースがはずれた場合、けがをする恐れがあります。



1. 高圧ホースを本製品の吐出口の奥まで挿し込み、カップリングナットを右に回して締め付けます。



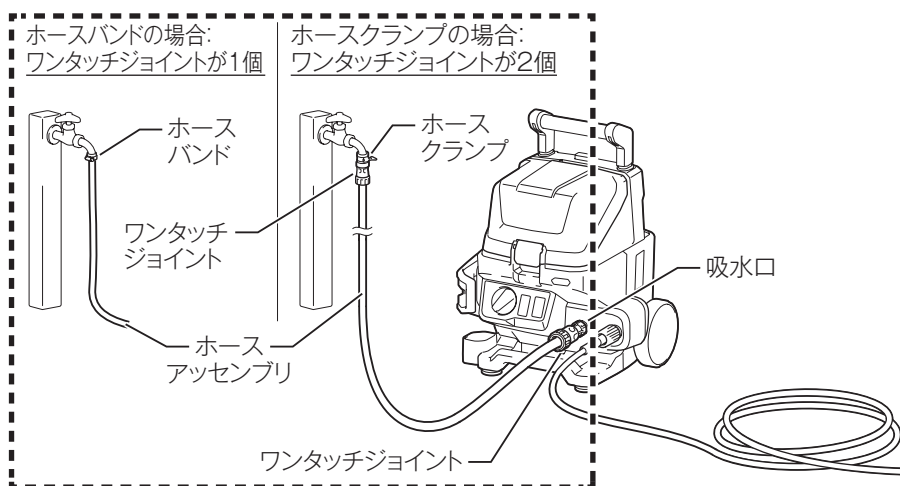
- 2.** 高圧ホースをトリガガンの取り付け口の奥まで挿し込み、カップリングナットを右に回して締め付けます。



■ 取りはずし方

- ・ カップリングナットを左に回して、高圧ホースを取りはずします。

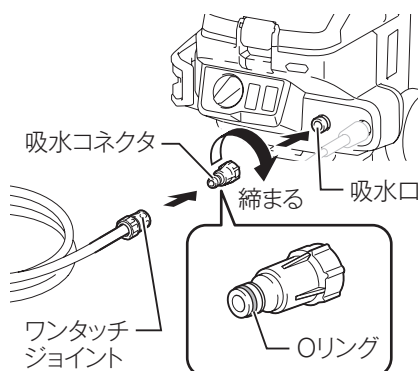
ホースアセンブリの取り付け／取りはずし方法



■ ホースクランプでの取り付け方

1. 吸水口に吸水コネクタを取り付け、ホースアッセンプリのワンタッチジョイントを挿し込みます。

- ワンタッチジョイントを吸水コネクタに挿し込みにくい場合は、吸水コネクタのOリング部分に水をつけると、挿し込みやすくなります。

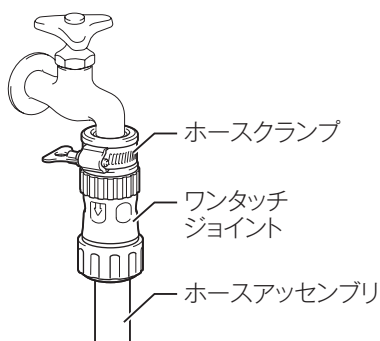


注

- 吸水コネクタは確実にしっかりと締めてください。
- 水漏れの恐れがあります。

2. ホースアッセンプリを水道の蛇口につなぎます。

- ホースクランプを蛇口に固定した後、ワンタッチジョイントを挿し込み、ホースアッセンプリを取り付けます。



注

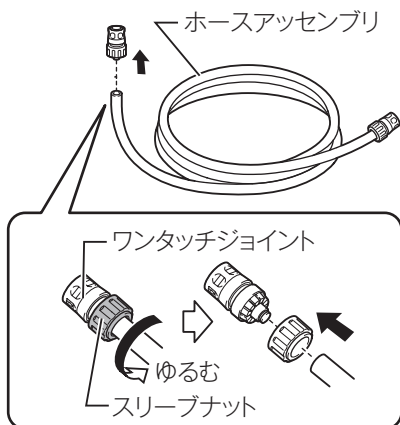
- ホースアッセンプリは確実に取り付けてください。
- 水漏れの恐れがあります。
- ホースクランプは確実にしっかりと締めてください。
- 水漏れの恐れがあります。
- ホースクランプは、蛇口の形状によっては取り付けができない場合があります。

■ 市販のホースバンドでの取り付け方

1. ホースアッセブリの片方のスリーブナットを矢印方向に回してワンタッチジョイントから取りはずします。

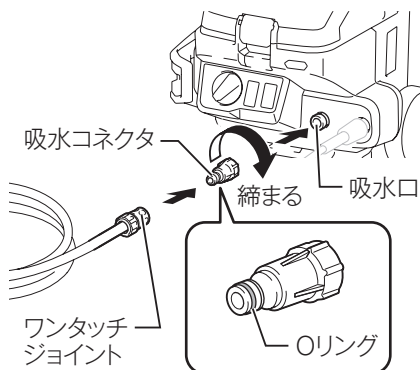
2. ワンタッチジョイント、スリーブナットの順にホースアッセブリから取りはずします。

- 再度ホースアッセブリに取り付ける場合は、「ワンタッチジョイントのホースアッセブリへの取り付け方」(43 ページ) を参照してください。



3. 吸水口に吸水コネクタを取り付け、ホースアッセブリのワンタッチジョイントを挿し込みます。

- ワンタッチジョイントを吸水コネクタに挿し込みにくい場合は、吸水コネクタの O リング部分に水をつけると、挿し込みやすくなります。

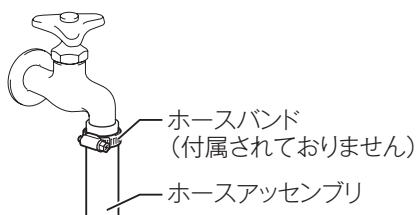


注

- 吸水コネクタは確実にしっかりと締めてください。
- 水漏れの恐れがあります。

4. ホースアッセブリを水道の蛇口につなぎます。

- 市販のホースバンドで蛇口にホースアッセブリを取り付けます。



注

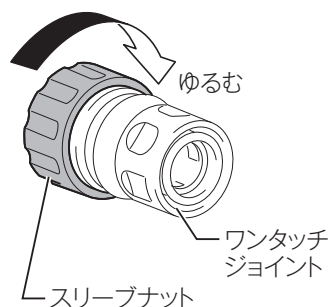
- ホースアッセブリは確実に取り付けてください。
- 水漏れの恐れがあります。

■ 取りはずし方

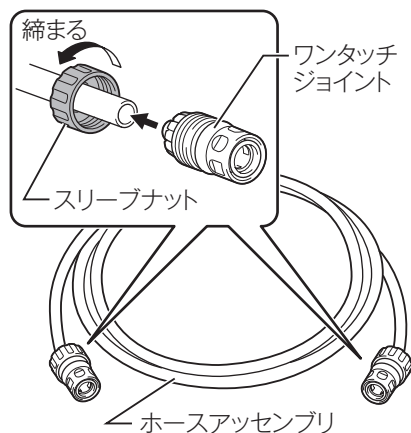
- 取り付けの逆の手順で行います。

■ ワンタッチジョイントのホースアッセンブリへの取り付け方

1. ワンタッチジョイントからスリーブナットをはずします。



2. ホースアッセンブリにスリーブナット、ワンタッチジョイントの順に取り付け、スリーブナットを矢印方向に回して締め付けます。



注

- ・ワンタッチジョイントは、ホースアッセンブリに確実に取り付けてください。
- ・ホースアッセンブリがはずれ、けがをする恐れがあります。
- ・作業前にスリーブナットが確実に締まっていることを確認してください。必要に応じて増し締めしてください。

スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

使用する際は必ず本製品を置き、安定した状態で使用してください。

- ・ 故障や思わぬ事故の原因になります。

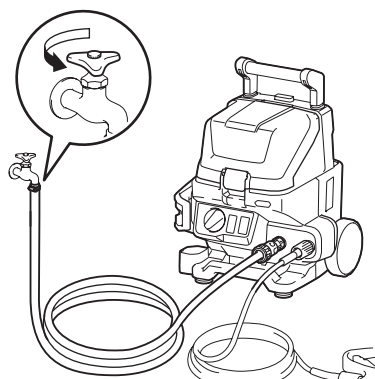
ノズルの噴射口を人や動物、または通電された電気装置に向けないでください。

- ・ 高圧水が噴射し、けが、感電の原因になります。

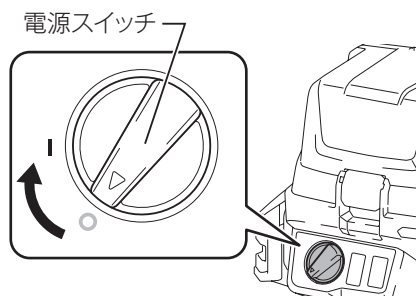
保護メガネなどの保護具を着用してください。

- ・ 高圧水が、けがの原因になります。

1. 水道の蛇口をいっぱいまで開けます。



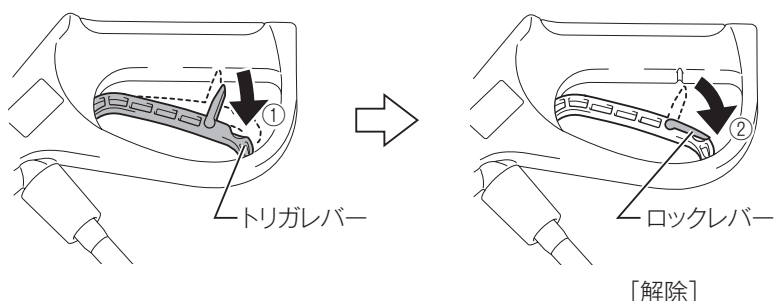
2. 電源スイッチを「I」にして、電源を入れます。



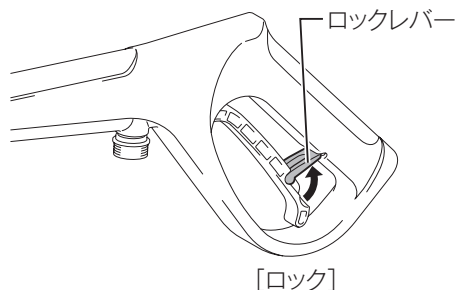
注

- ・ スイッチを入れる前に、水道の蛇口が全開になっていることを確認してください。
- ・ 給水されていない状態でスイッチを入れると故障の原因になります。
- ・ 水道水を使用する場合、水量は 7 L/min 以上必要です。
- ・ 水量が少ないと本製品の能力を十分発揮できません。
- ・ 指定位置を越えて、電源スイッチを回さないでください。
- ・ 故障の原因になります。

- 3.** トリガガンのトリガレバーを①のように矢印方向に引きながら、ロックレバーを②のように倒してトリガレバーのロックを解除します。

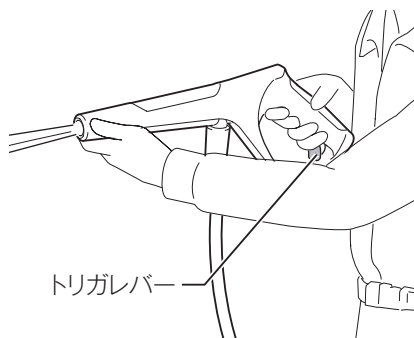


- ・ トリガレバーをロックするには、ロックレバーを“カチツ”と音がするまで矢印方向に倒します。



4. 水圧が安定するまで、トリガレバーを引いて水を出します。

- ・ホース内の空気が抜けると、水圧が安定します。



注

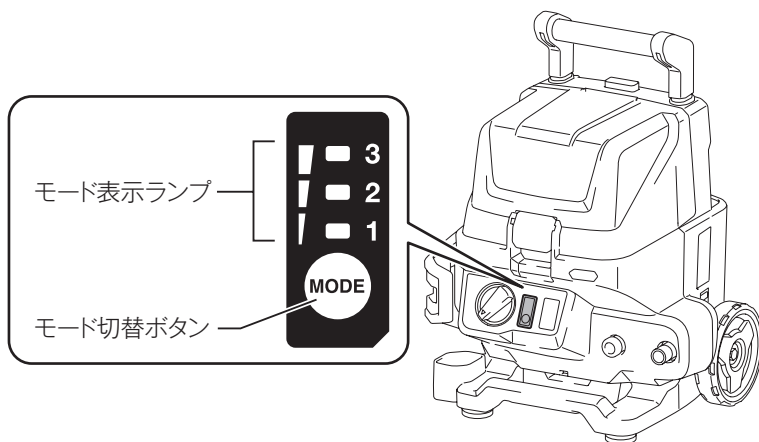
- ・ノズルを取り付けたままトリガレバーを引いても、ホース内の空気を抜くことはできません。必ず、ノズルをはずして行ってください。ノズルの取り付け、取りはずしについて詳しくは、「ノズルの取り付け／取りはずし方法」(50 ページ) を参照してください。
- ・トリガレバーの中央を握って操作してください。
- ・トリガレバーの端で操作すると、指を挟んでけがをする恐れがあります。

モード切替

- ・ 本製品は必要に応じて「洗浄力」を次の 3 段階に切り替えて使用できます。

モード	用途
 モード3 (高速モード)	吐出量強い洗浄をしたい場合に最適です。 
 モード2 (中速モード)	
 モード1 (低速モード)	長時間洗浄をしたい場合に最適です。 

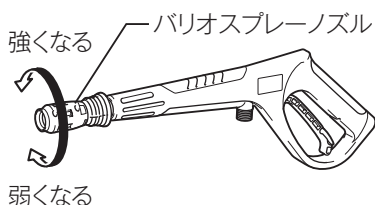
- ・ 本製品の動作が停止中に「モード切替ボタン」を押すことで、モードを切り替えることができます。トリガガンから水を吐出している間や、モータが動いている間はモードを切り替えることができません。
- ・ バッテリーが挿入されていれば、電源オフの状態でもモードを切り替えることができます。
- ・ 電源を入ると、最後に選択したモードで運転を開始します。
- ・ 「モード切替ボタン」を押すごとに、モードが切り替わります。



ノズルの選択

ノズルの取り付け方法については、「ノズルの取り付け／取りはずし方法」(50 ページ) を参照してください。

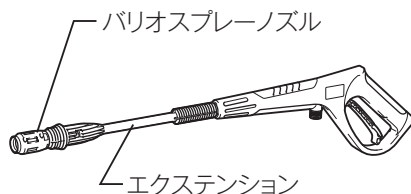
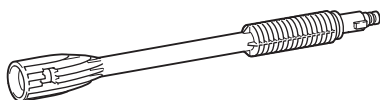
- ・ バリオスプレーノズル
ノズルの先端を回すことで水圧の調整ができます。



注

- ・ ノズルの先端を回して水圧の調整をする際、ノズルをトリガガンに押し込みながらノズルの先端を回さないでください。ノズルがはずれ、けがをする恐れがあります。
- ・ 水圧調整時は無理な力でノズルの先端を回さないでください。
- ・ 破損やけがをする恐れがあります。

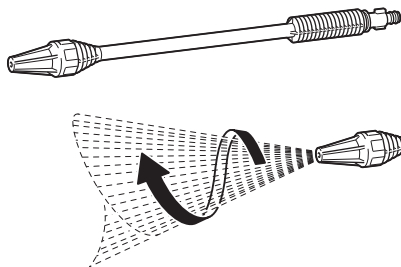
- ・ エクステンション
バリオスプレーノズルの延長に使用できます。



注

- ・ エクステンションをバリオスプレーノズル以外に使用しないでください。エクステンションを2つ以上つなげて使用しないでください。
- ・ 事故やけがの原因になります。

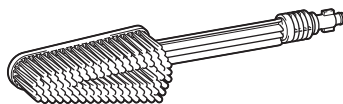
- ・ サイクロンジェットノズル
直噴の水を高速で回転させながら噴射します。こびりついた汚れなどを広範囲で洗い流す作業に適しています。



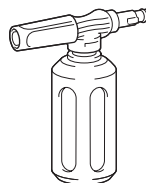
注

・ 車の塗装面やガラス窓など強度の弱い部分には使用しないでください。

- ・ 洗浄ブラシ（縦型）
ブラシで汚れを取りながら水で洗い流すことができます。



- ・ フォームノズル
ボトル内の洗剤を吸い込みながら泡状の洗浄液を塗布します。
・ フォームノズルについて詳しくは、「フォームノズルの場合」(51 ページ)を参照してください。



ノズルの取り付け／取りはずし方法

■ 取り付け方

⚠ 警告

ノズルは、トリガガンに確実に取り付け、はずれないことを確認してください。

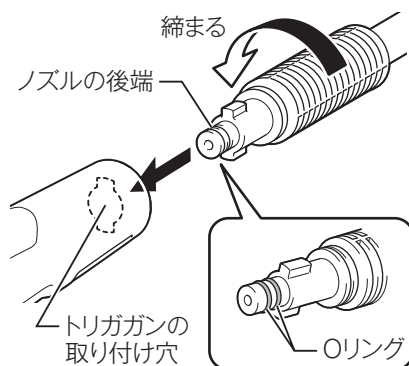
- ・ ノズルがはずれた場合、けがをする恐れがあります。

ノズルを取り付ける際は、トリガレバーをロックレバーでロックしてください。

ノズルを取り付ける、取りはずす際は、無理な力でノズルを回さないでください。

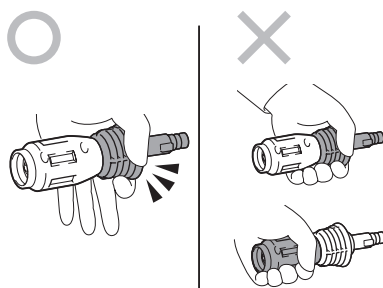
- ・ 破損やけがをする恐れがあります。

- ・ ノズルの後端をトリガガンの取り付け穴に合わせて奥まで挿し込み、矢印方向に止まるまで回して固定します。
- ・ 挿し込みにくい場合は、ノズルの後端にある O リング部分に水をつけると、挿し込みやすくなります。



バリオスプレーノズルの場合

- ・ バリオスプレーノズルの取り付け、取りはずしの際は、図のようにノズルの根元部分のみを持って回します。

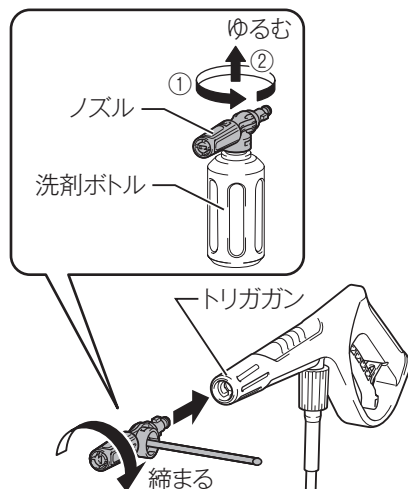


注

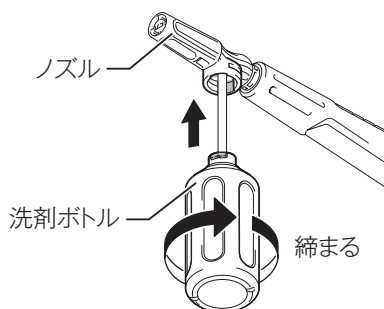
- ・ ノズルの先端を持って回さないでください。
- ・ 破損の恐れがあります。

フォームノズルの場合

- ・ ノズルを矢印方向に回して洗剤ボトルからはずし、トリガガンに取り付けます。



- ・ 洗剤ボトルに中性洗剤（必要に応じて希釈したもの）を入れた後、取りはずしと逆の手順でノズルに取り付けます。

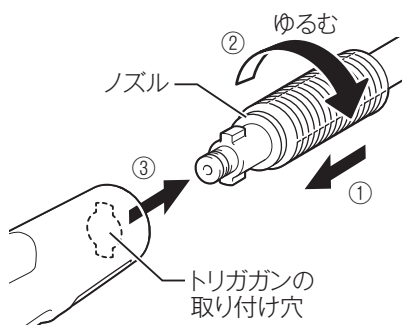


注

- ・ フォームノズルは洗剤ボトルに入れた洗浄剤を接続している高圧洗浄機の水で希釈しながら噴射します。そのため洗剤ボトル内で必要以上に洗浄剤の濃度を薄める必要はありません。ご使用状況を確認しながら、洗浄剤の濃度を調整してください。
- ・ 必ず、中性洗剤をお使いください。アルカリ性や酸性の洗剤は使わないでください。
- ・ 粘度が高い洗浄剤はノズルが詰まりやすくなるので、あらかじめ洗剤ボトル内に水を入れ粘度を少し薄めてから使用してください。
- ・ フォームノズルを横倒しにすると、洗浄剤がこぼれる場合があります。

■ 取りはずし方

- ・ ノズルを①のようにトリガガンの方へ押し込みながら、②のように矢印方向に回してゆるめ、③のようにトリガガンの取り付け穴から取りはずします。



洗浄作業

⚠ 警告

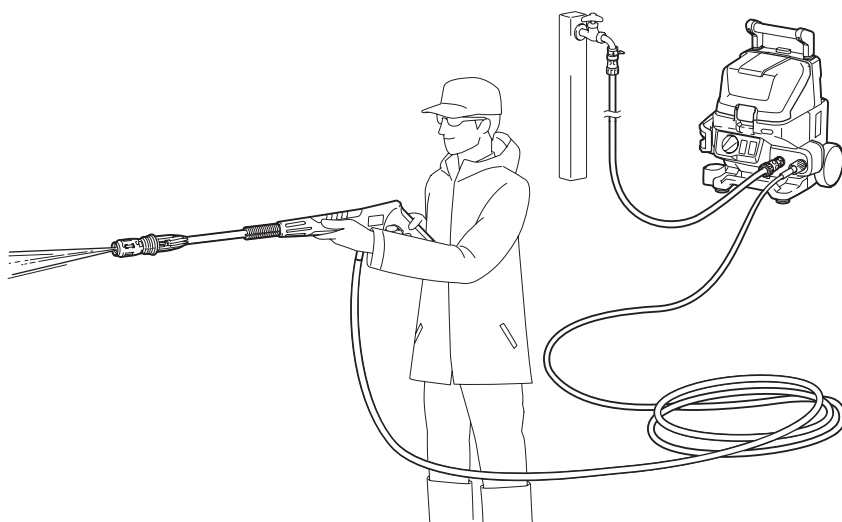
洗浄の対象物に損傷の可能性がある場合、目立たない部分で試してから使用してください。また、対象物とノズルの距離にも注意しながら慎重に作業を行ってください。

- ・ 高圧水による破損やはがれの恐れがあります。

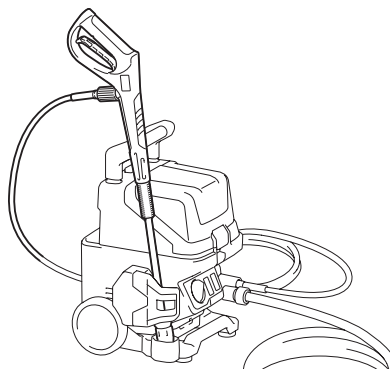
40℃以上の水は使用しないでください。

- ・ 故障の原因になります。

洗浄中は、図のようにトリガガン进行両手でしっかりと保持してください。

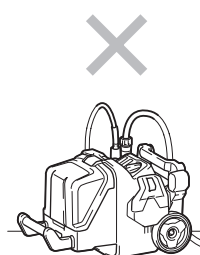
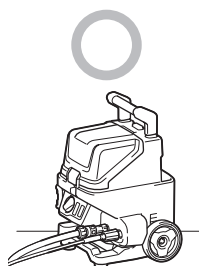


右図のようにトリガガ进行本製品に立てかけることができます。



注

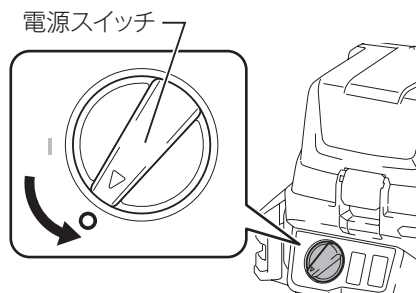
- ・トリガガンのトリガレバーを放すとモータが停止し、再度トリガレバーを引くと再始動します。
- ・トリガレバーを引いたり放したりする操作は、2 秒以上の間隔をあけてください。2 秒未満の間隔で操作すると、圧力スイッチが誤作動する場合があります。
- ・運転を一時中断するときは、本製品のスイッチを切ってください。スイッチを切らずに放置した場合、自然減圧が生じ、何もしない状態で本製品が再起動する場合がありますが、異常ではありません。
- ・1 時間以上運転を中断するときは、本製品のスイッチを切った上で、トリガレバーを引いて圧力を抜いてください。
圧力がかかった状態で長時間放置すると圧力スイッチが誤作動をおこし、起動できなくなる恐れがあります。
万一、起動できなくなった場合は、水道の蛇口につなぎ、トリガガンのレバーを引いて水を流してください（水道の圧力で水が流れ、圧力スイッチの動きが改善します）。
- ・作業中にホースを無理に引くと、本製品が転倒したり、部品が損傷したりする恐れがあります。
- ・本製品を倒した状態で使用しないでください。故障の原因になります。



- ・高圧ホースは折れ曲がらないように取り扱ってください。高圧ホースの損傷の原因となります。

使い終わったら

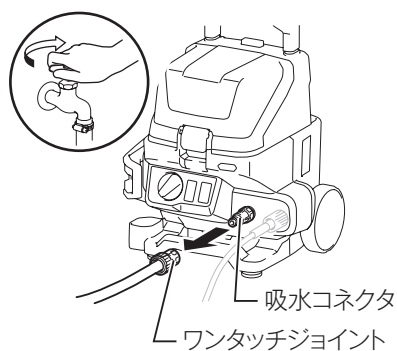
1. 電源スイッチを「O」にして、電源を切ります。



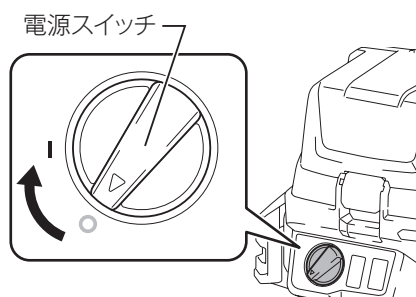
注

- ・ 指定位置を越えて、電源スイッチを回さないでください。
- ・ 故障の原因になります。

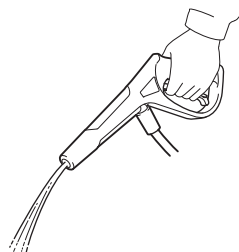
2. 水道の蛇口を閉め、ワンタッチジョイントを手前に引いて、吸水コネクタからホースアッセンブリをはずします。



3. 電源スイッチを「I」にして、スイッチを入れます。



- 4.** トリガガンのトリガレバーを引いて空運転させ、本製品内部の水を抜きます。

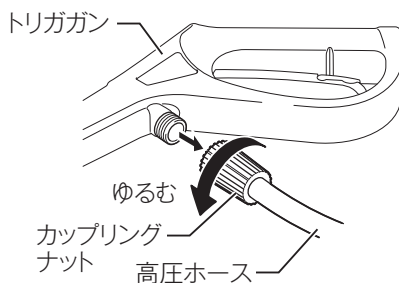


注

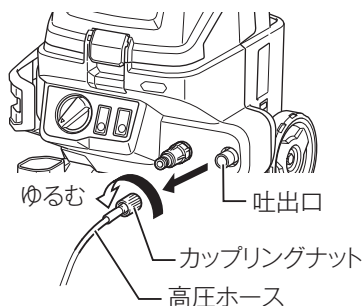
- ・ 水の噴射がなくなるまで行ってください。
- ・ 1 分以上の空運転をしないでください。
- ・ 故障の原因になります。

- 5.** 電源スイッチを「O」にして、電源を切ります。

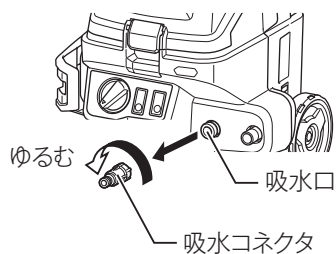
- 6.** カップリングナットをゆるめて、トリガガンを高圧ホースからはずします。



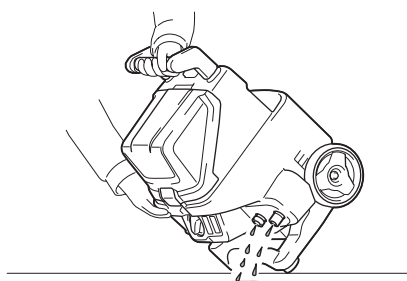
- 7.** カップリングナットを左に回してゆるめ、吐出口から高圧ホースをはずします。



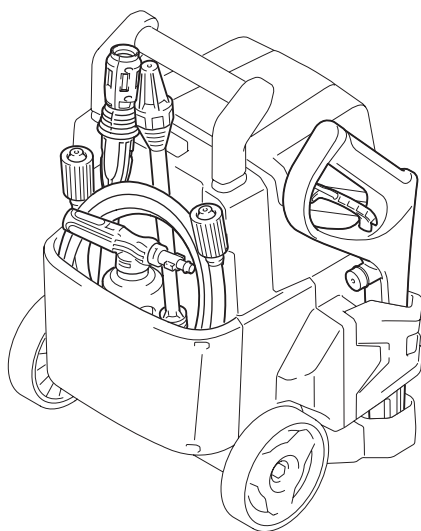
- 8.** 吸水口から吸水コネクタをはずします。



- 9.** 本製品を傾けて、本製品内部の残水を抜きます。



■ 収納例



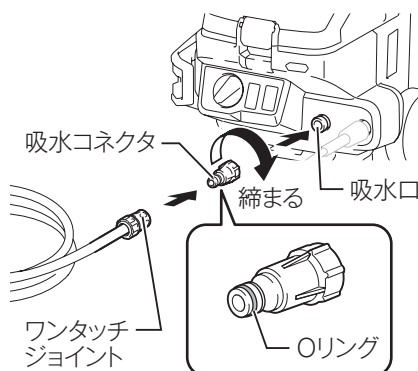
ため水を利用した使い方

水道がない場合は、ホースアッセンブリ、ストレーナアッセンブリを使って、ため水を利用することができます。

1. 本製品とトリガガンを高圧ホースで接続します（39 ページ参照）。

2. 吸水口に吸水コネクタを取り付け、ホースアッセンブリのワンタッチジョイントを挿し込みます。

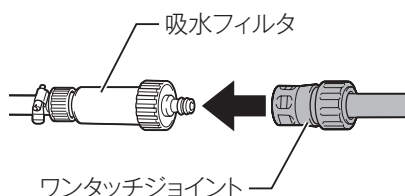
- ワンタッチジョイントを吸水コネクタに挿し込みにくい場合は、吸水コネクタの O リング部分に水をつけると、挿し込みやすくなります。



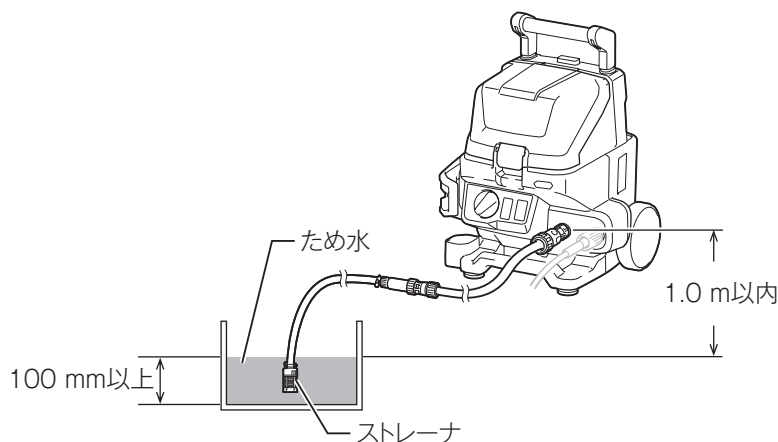
注

- 吸水コネクタは確実にしっかりと締めてください。
- 水漏れの恐れがあります。

3. ホースアッセンブリのワンタッチジョイントとストレーナアッセンブリの吸水フィルタを接続します。



4. ストレーナをため水に入れます。



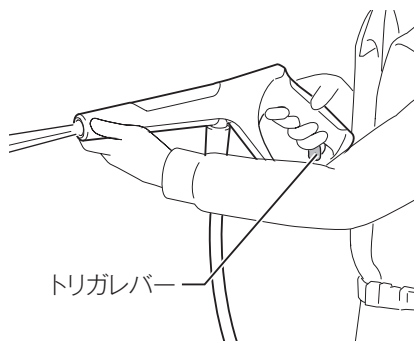
注

- ・ 吸い上げ可能な高さは 1.0 m 以内です。
- ・ 吸い上げ可能な水位は 100 mm 以上です。

5. 電源スイッチを「I」にして、電源を入れます（44 ページ参照）。

6. ノズルを取り付けない状態で、トリガガンのトリガレバーを握り、ストレーナアッセンブリ内の空気を抜き、吸水させます。

※水が出るまで 10 ～ 60 秒程度かかります。

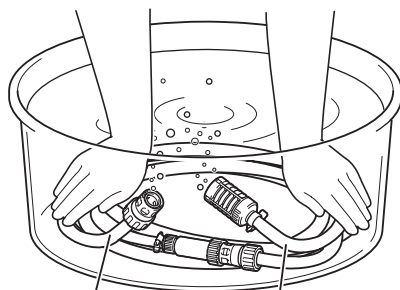


注

- ・ ノズルを取り付けたままトリガレバーを握っても、ホースアッセンブリ、ストレーナアッセンブリ内の空気を抜くことはできません。必ず、ノズルをはずして行ってください。

注

- ・ 自吸できない場合は、ホースアッセンブリ、ストレーナアッセンブリ内に水を入れてください（呼び水）。



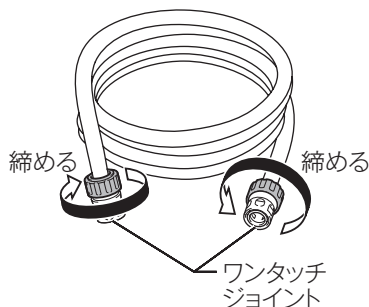
ホースアッセンブリ

ストレーナアッセンブリ

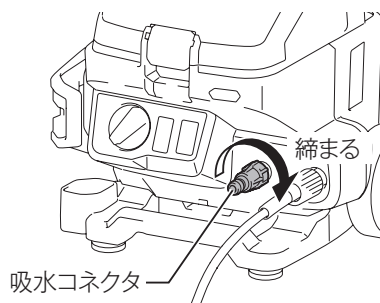
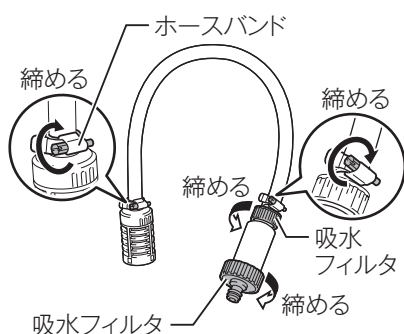
注

- ・ 自吸ができない、自吸に時間がかかる、または圧力が十分にでない場合は下記を確認してください。
- ・ ホースアッセンブリ、ストレーナアッセンブリ、吸水コネクタの各部のネジのゆるみ。

ホースアッセンブリ



ストレーナアッセンブリ



吸水コネクタ

- ・ ホースアッセンブリのワンタッチジョイントが製品の吸水コネクタ、ストレーナアッセンブリの吸水フィルタに、しっかり挿し込まれていること。

7. トリガガン先端より水が安定して噴射された後、トリガレバーを放してスイッチを切ります。

8. 作業に応じたノズルを取り付けて、洗浄をします（53 ページ参照）。

注

- ・ 自吸に時間がかかる場合は、ストレーナアセンブリのストレーナや吸水フィルタの目詰まりが考えられますので点検・清掃をお願いします。
- ・ 1 分以上連続して空運転をしますとポンプ部が発熱し故障の原因となります。
- ・ 川や池の水、砂や泥が混ざった水などは使用しないでください。故障の原因になります。

使用後の取り扱い

⚠ 警告

点検、整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

本製品の保管

- ・ 保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。次の場所には保管しないでください。

- × 凍結する恐れがある場所
- × お子様の手が届いたり、持ち出せる所
- × 直射日光の当たる所
- × 軒先など雨がかったり、湿気のある所

注

- ・ 凍結しない場所に保管してください。本製品内部の水抜きを行っても、少量の水は本製品内に残るため、0℃以下になる場所では本体の残水が凍結する恐れがあります。
- ・ 凍結での故障や破損は、保証期間内であっても補償対象外となります。

⚠ 警告

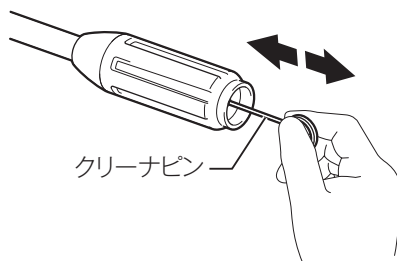
保守、点検の際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

保守

ノズル穴の清掃

- ・ ノズル穴が詰まらないようにクリーナピンで定期的に清掃してください。



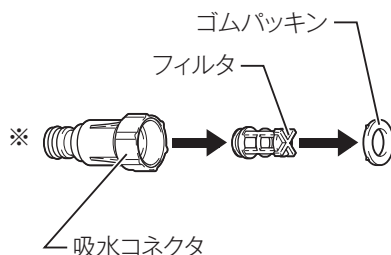
フィルタの清掃

- ・ 本製品が正常に働くようにフィルタは常にきれいに保ってください。フィルタが詰まると、ポンプの力が落ち水圧が低くなります。

■ 吸水コネクタ

1. フィルタを吸水コネクタからはずして清掃します。

- ・ ゴムパッキンを取りはずした後、吸水コネクタの※側からペンなどの細長いものを挿し込み、フィルタを押し出してください。

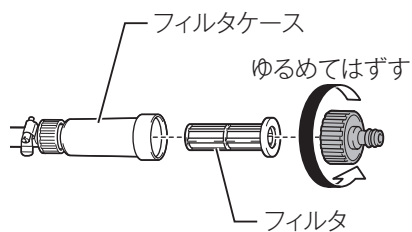


2. 元通りに取り付けます。

注 ・ フィルタをキズ付けたり、変形させないように注意してください。

■ 吸水フィルタ

- 1.** フィルタケースからフィルタを取り出して清掃します。
- 2.** 元通りに取り付けます。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 35 ページ参照。

ご修理の際は

- ・修理はご自分では行わないでください。必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。
- ・保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。製品と本書の保証書を一緒にお持ちください。
- ・保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。

トラブルシューティング

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

不具合内容	原因	対策
製品が動作しない。	電源が入っていない。	本体スイッチが入っているか確認してください。
	バッテリーが取り付けられていないか、取り付け方が不十分。 バッテリーの容量不足。	充電されたバッテリーを確実に取り付けてください。
	保護機能が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している。	本製品・バッテリーを十分に冷ましてください。
水圧が上がらない。	本製品内に空気が残留している。	水圧が安定するまで、トリガレバーを引いて水を出してください(46 ページ参照)。
	ホース類の接続が不十分。	ワンタッチジョイントなどの締付をしてください。 ワンタッチジョイントが確実に挿し込まれていることを確認してください。
	ホース類が傷んでいる。	ホース類を交換してください。
	十分な水量が供給されていない。	水道水の流量を増やしてください。
	フィルタが詰まっている。	フィルタを掃除してください。
	ノズルが消耗または損傷している。	ノズルを交換してください。
	ノズル穴の詰まり。	クリーナピン（標準付属品）で掃除してください。
水の出方が一定でない。	ノズル穴の詰まり。	クリーナピン（標準付属品）で掃除してください。
	吸水が十分に行われない。	ホースアッセンブリ、ストレーナアッセンブリに傷んでいる箇所がないか確認してください。 水道水の流量を増やしてください。
	吸水温度が高すぎる。	水温を下げてください。
水が漏れる。	ホース類の接続が不十分。	ワンタッチジョイントなどの締付をしてください。 ワンタッチジョイントが確実に挿し込まれていることを確認してください。
	ホース類が傷んでいる。	ホース類を交換してください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881J86B1

IWT